

【クラス】 重戦士
【性別】 男
【年齢】 32
【誕生年】 大陸暦549年
【没年】 大陸暦581年

元々はジェラベルン地方を中心に、傭兵をして生活をしていたが、大陸暦572年に始まったカミール丘陵の大戦にジェラベルン解放軍として参加。

当時の名将を列挙したカミール17将において、多くの場合その筆頭として名をあげられており、最高の戦士とも評されている人物である。どのような劣勢であっても諦める事なく、数多の逆境を覆してきた彼は、畏怖と尊敬の念を込めて『天眼のエーレン』と呼ばれている。

大戦後はしばらく各地を放浪していたが、大陸暦580年に当時大陸の南方部に存在していたロゼッタ王朝に仕官。すぐに国家騎士団であるナイトオブサンの赤光将軍に任命され、その翌年からの1年戦争に参戦する事になる。

1年戦争においてもその実力を発揮し、バルディア、ディパンという当時2大国の連合軍に対して一歩も引かない戦いを見せていたが、1年戦争終期のアルトリア街道の攻防において、不意に現れた不死者の攻撃から仲間を守るために、その身を盾として命を落としてしまう。

セリフ傾向

渋い系

キャラ考察

ジェラベルンの中級貴族の家付きの傭兵だったエーレンは、カミール丘陵初期ジェラベルン襲撃の際にその家の幼い娘・クレセントを窮地から救い、その後はジェラベルンの解放軍を率いた。その後も彼を慕って付いてきたクレセントと共に放浪、ロゼッタの宮廷魔術師ゼノンの真の意思に共感して仕官する。

因みに、アルトリア街道の攻防で彼が身を呈して不死者から守った仲間というのはクレセントである。(某攻略本より)

戦闘時特殊会話

- [クレセント×エーレン](#)
- [アドニス×エーレン](#)
- [セレス×エーレン](#)
- [ゼノン×エーレン](#)
- [エルド×エーレン](#)